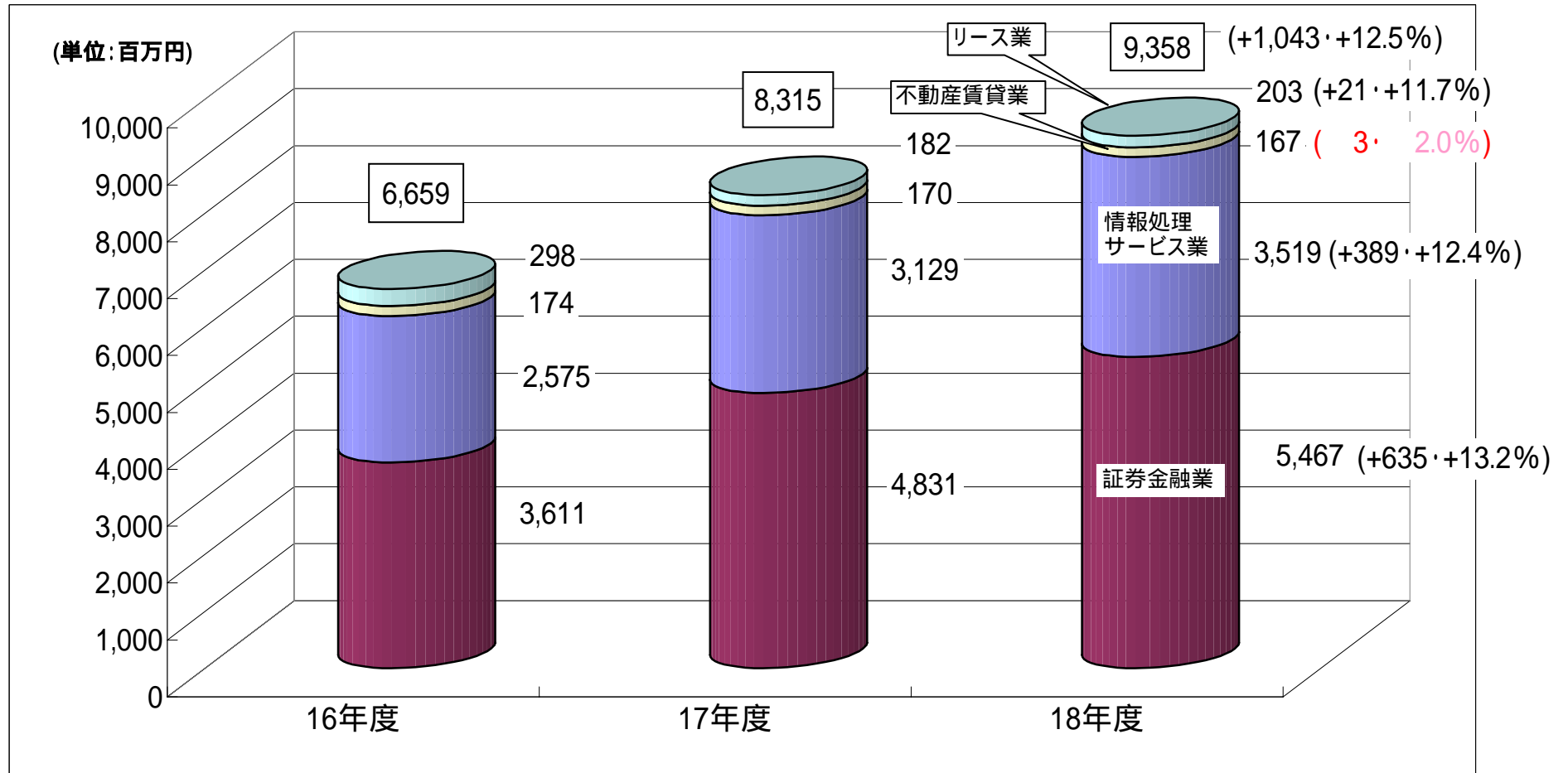


平成18年度 連結決算の概要

(1) 連結営業収益

証券金融業は株券レポ取引代り金利息収入の増加を主因に増収

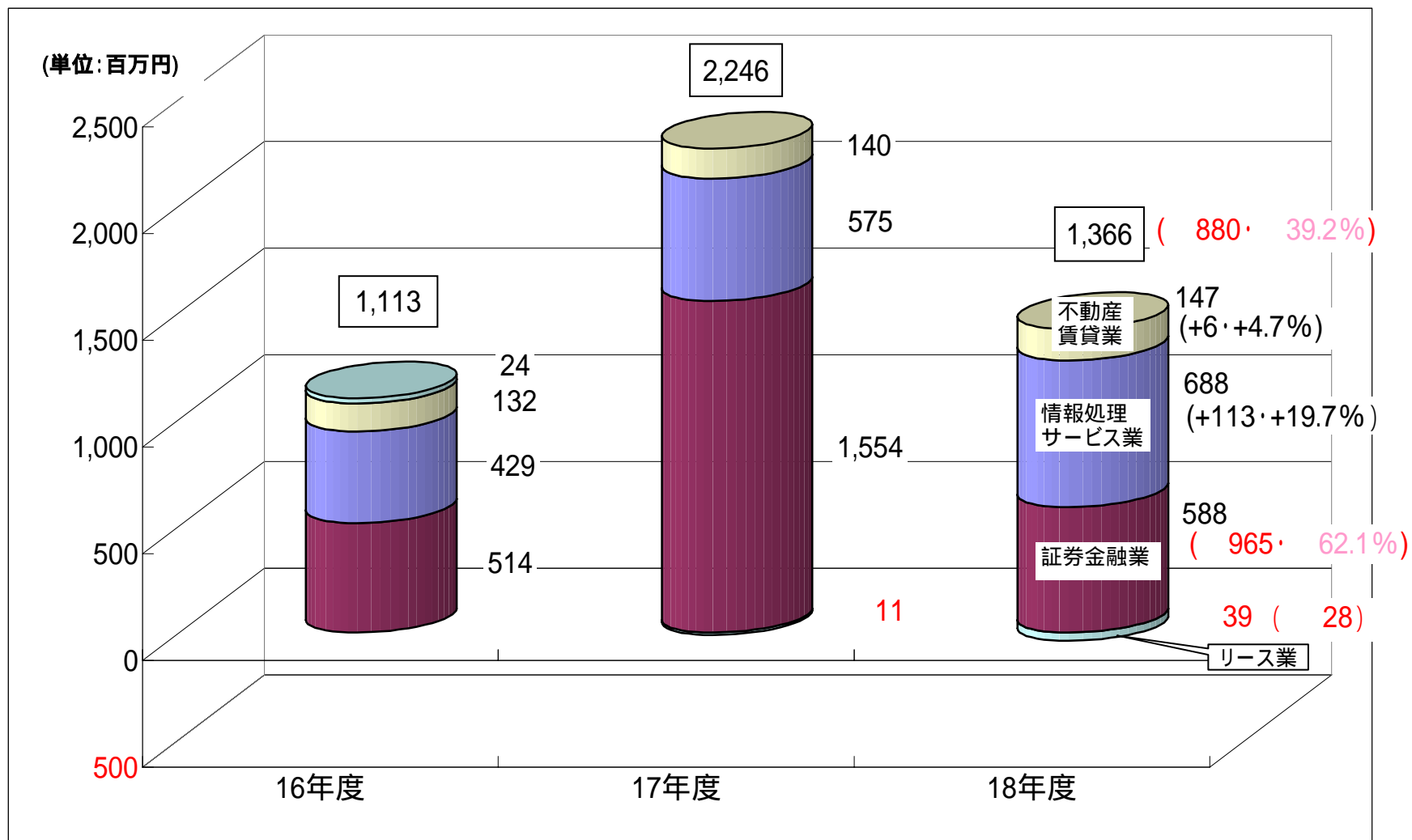
情報処理サービス業はシステム運用料・開発料の増加を主因に増収



(2) 連結営業利益

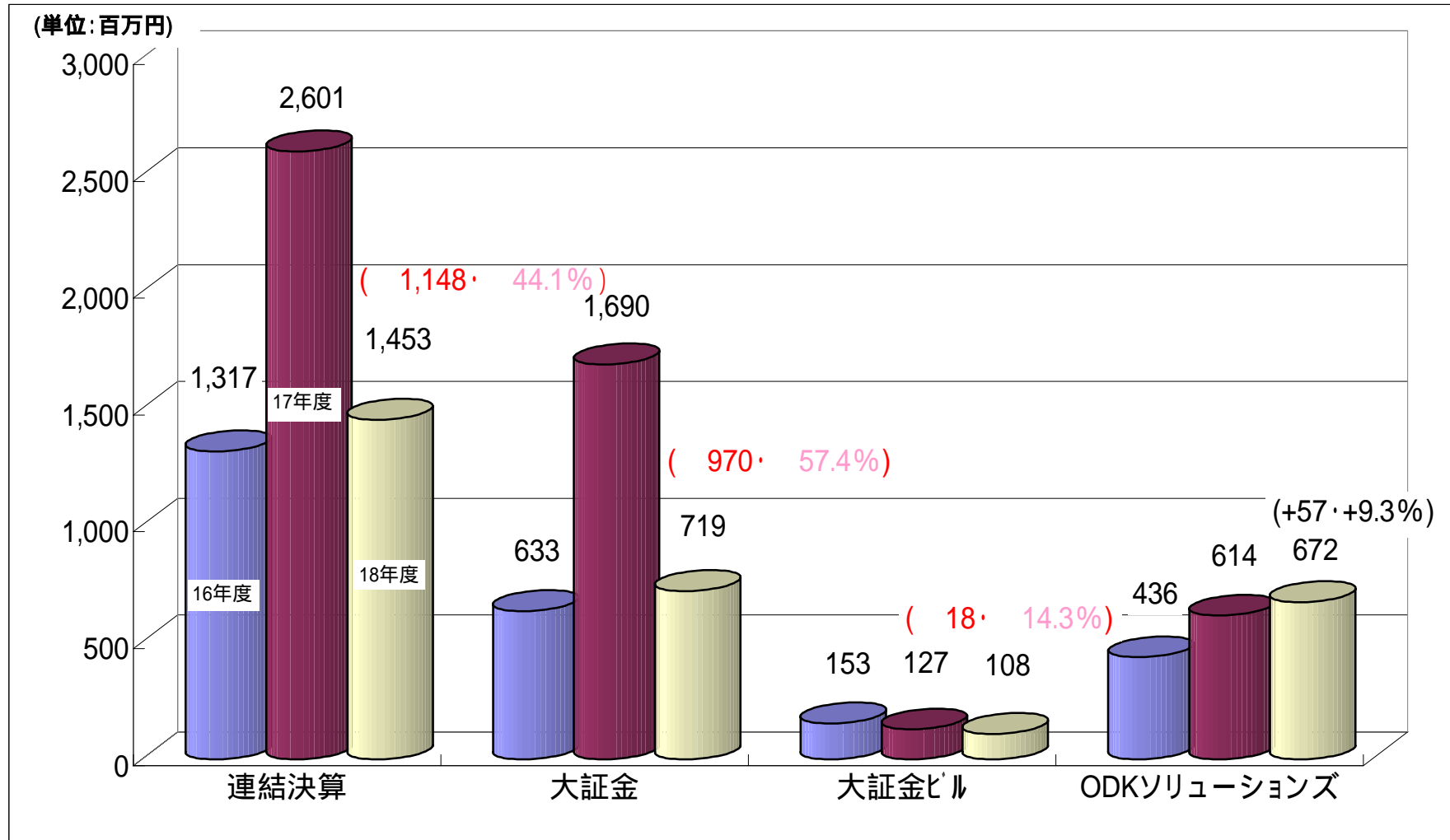
証券金融業の減益を主因に大幅減益

- ・営業費用が借入金支払利息の増加を主因に大幅増加(+1,641)
- ・一般管理費が退職給付費用、賞与を主因とする人件費の増加および貸倒引当金繰入で増加(+282)



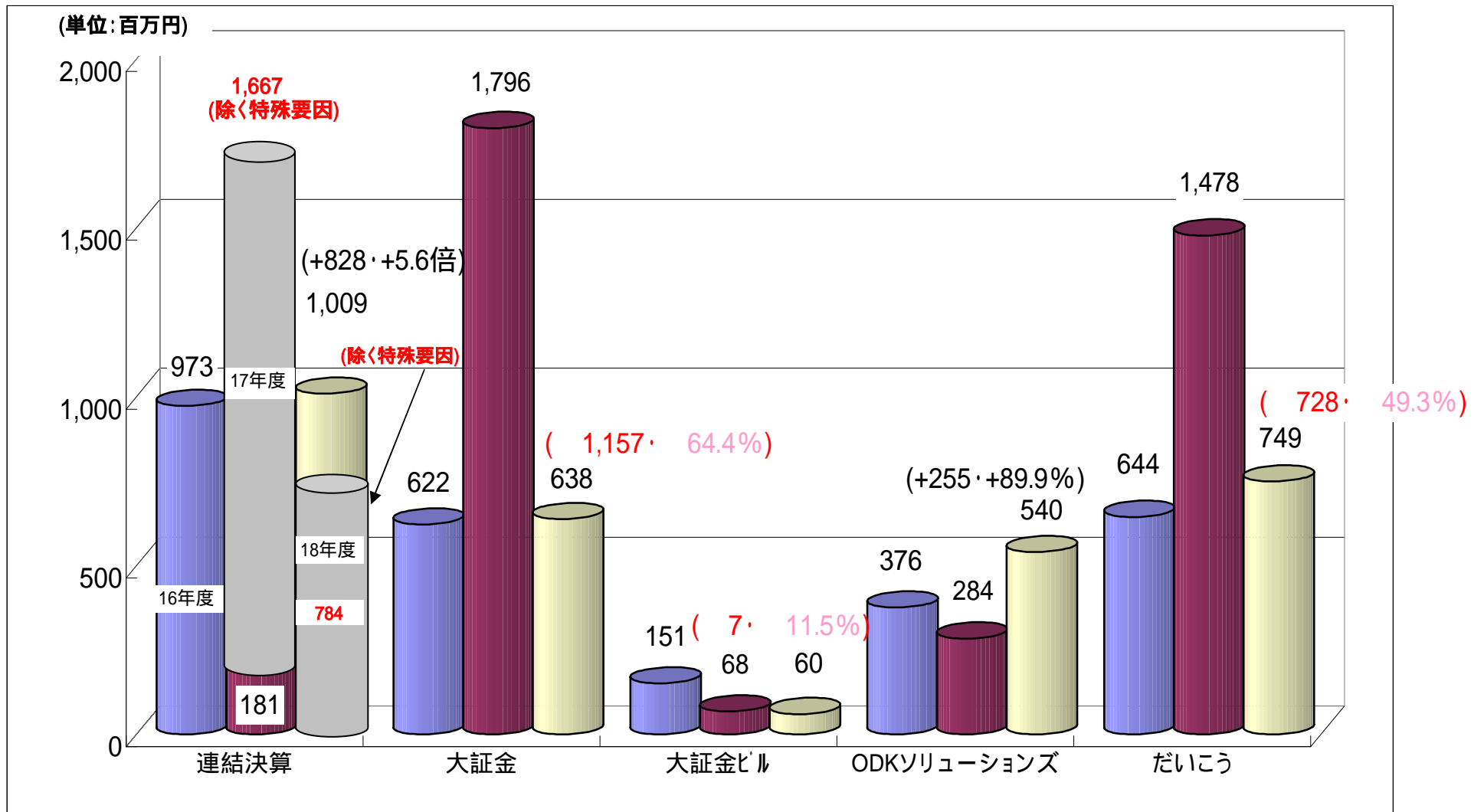
(3) 連結経常利益

当社およびだいこう証券ビジネスの減益を主因に大幅減益



(4) 連結当期純利益

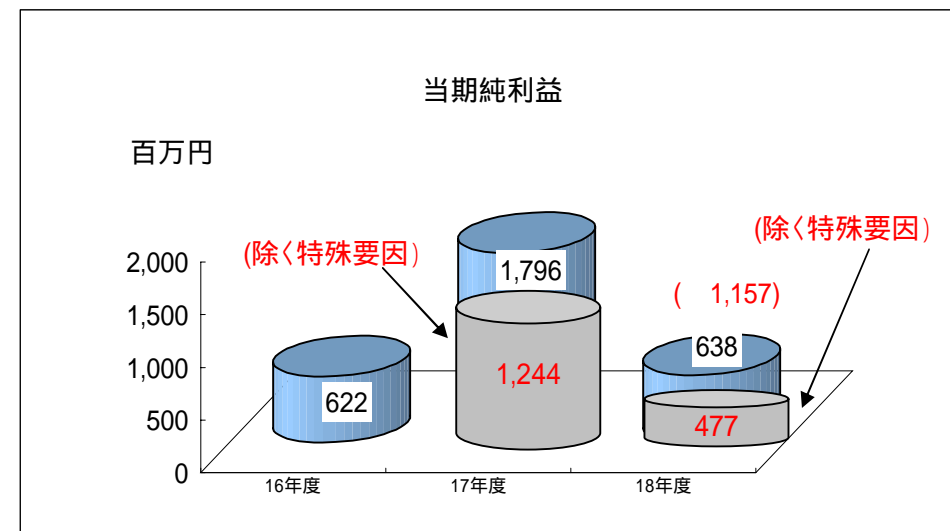
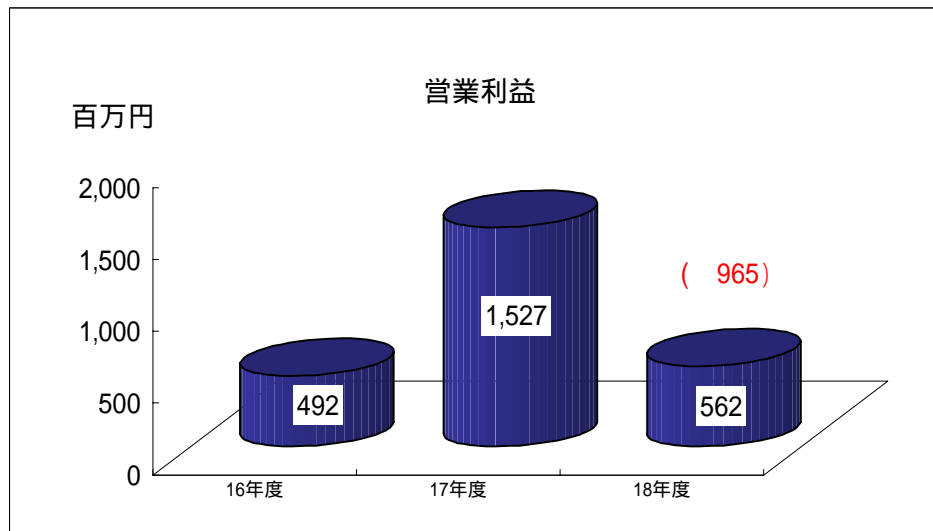
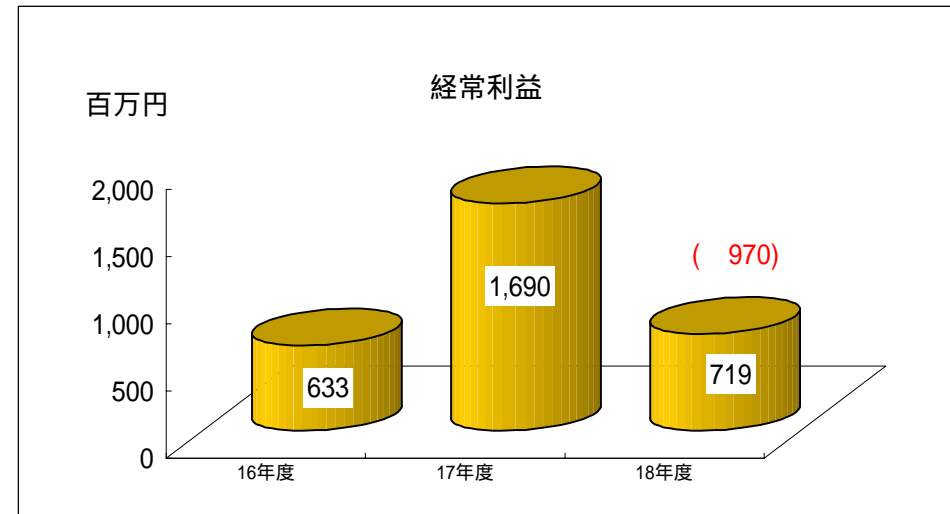
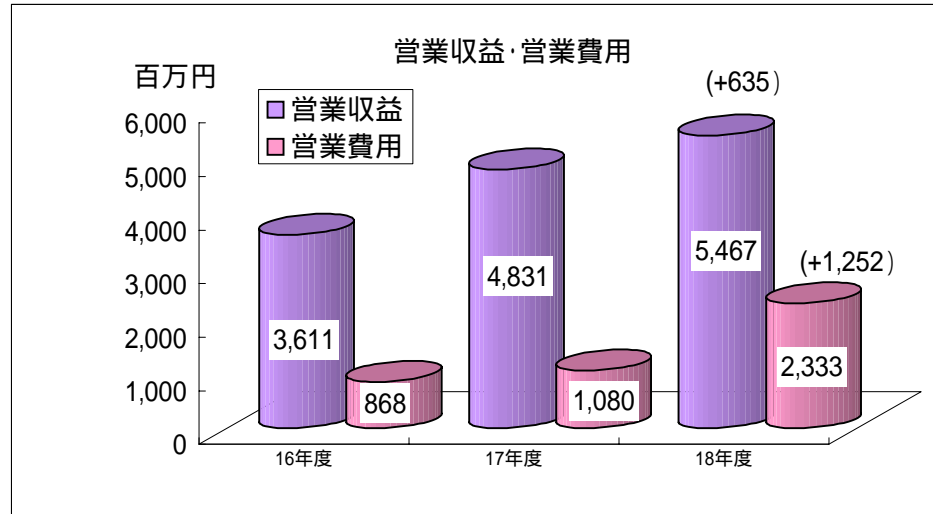
前期の関係会社(だいこう)株式売却の影響(1,486)の剥落に加え、当期の関係会社(ODK)株式売却益等(225)により大幅増益(+828・+5.6倍)
 当期および前期の特殊要因を除いた実勢では減益(883・ 53.0%)



単体決算の概要

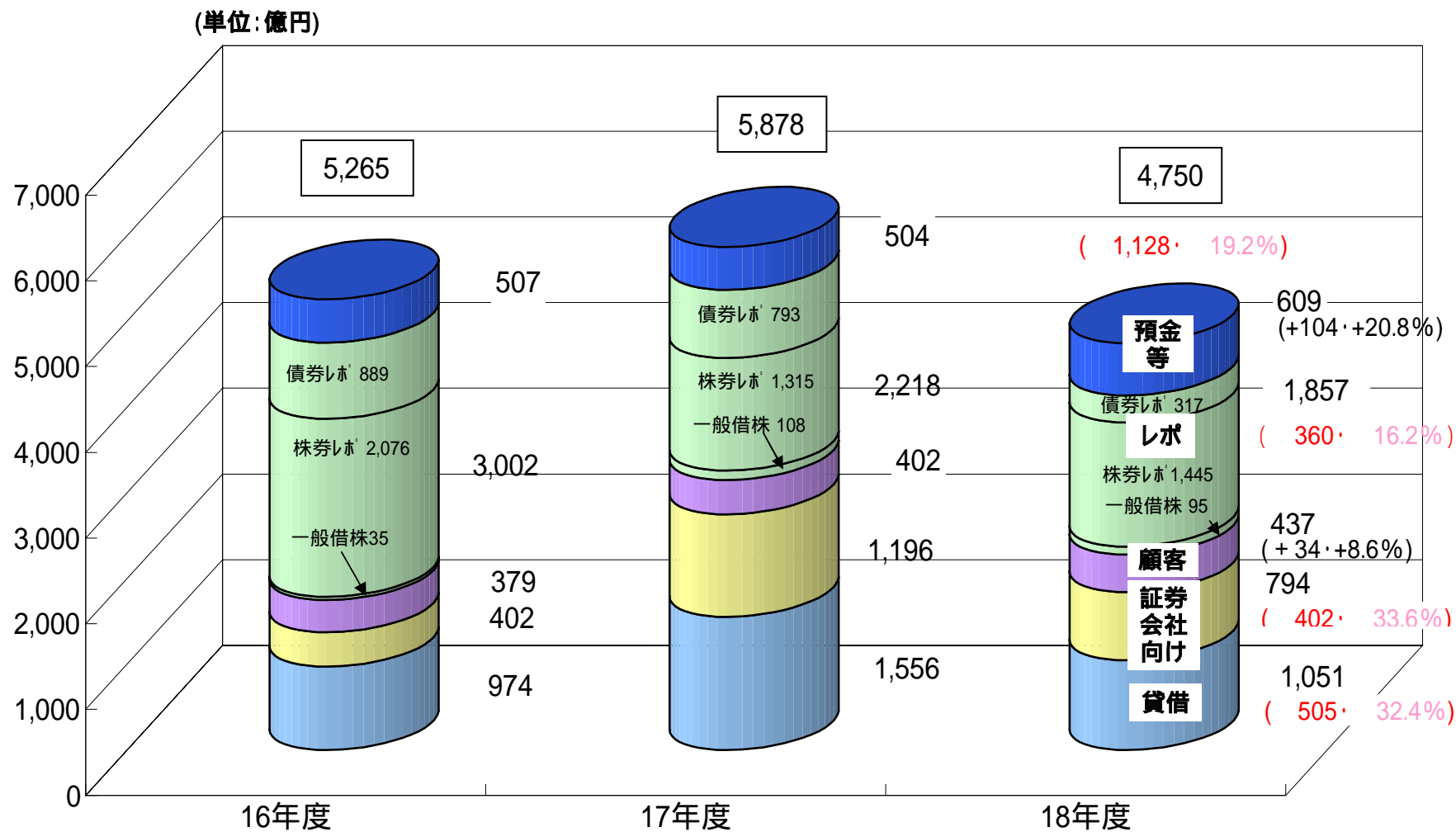
(1) 収支状況

営業収益は増収となったものの、営業利益(63.2%)・経常利益(57.4%)・純利益(64.4%)はいずれも大幅減益
当期および前期いずれも関係会社株式売却益(税金調整後それぞれ161、552)を除いた純利益の実勢では61.6%の減益



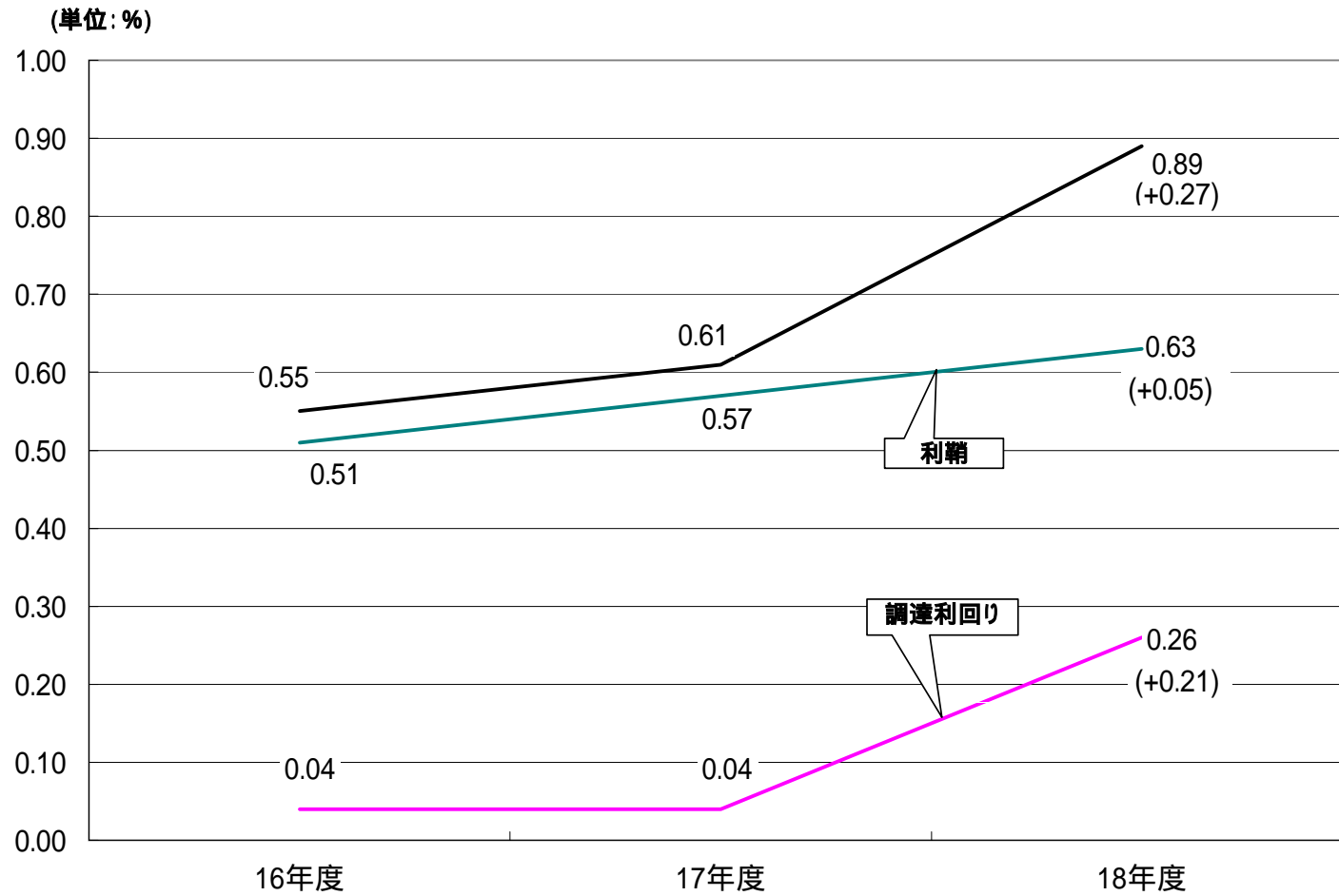
(2) 資金運用平均残高

債券レポ取引、貸借取引貸付金および信用サポートローンの減少により減少



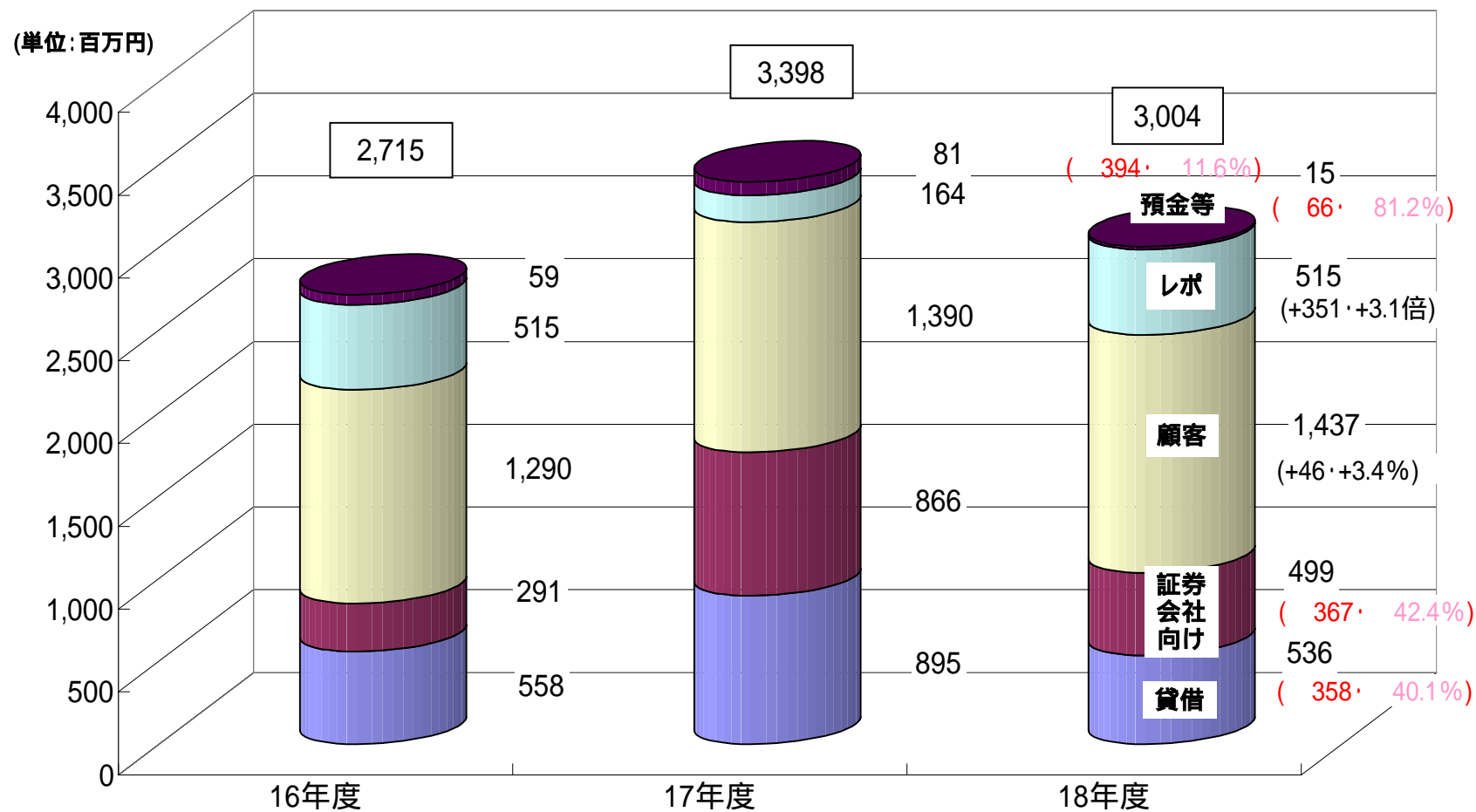
(3) 運用利回り・利鞘

ゼロ金利解除により運用利回り、調達利回りとも上昇、利鞘は拡大



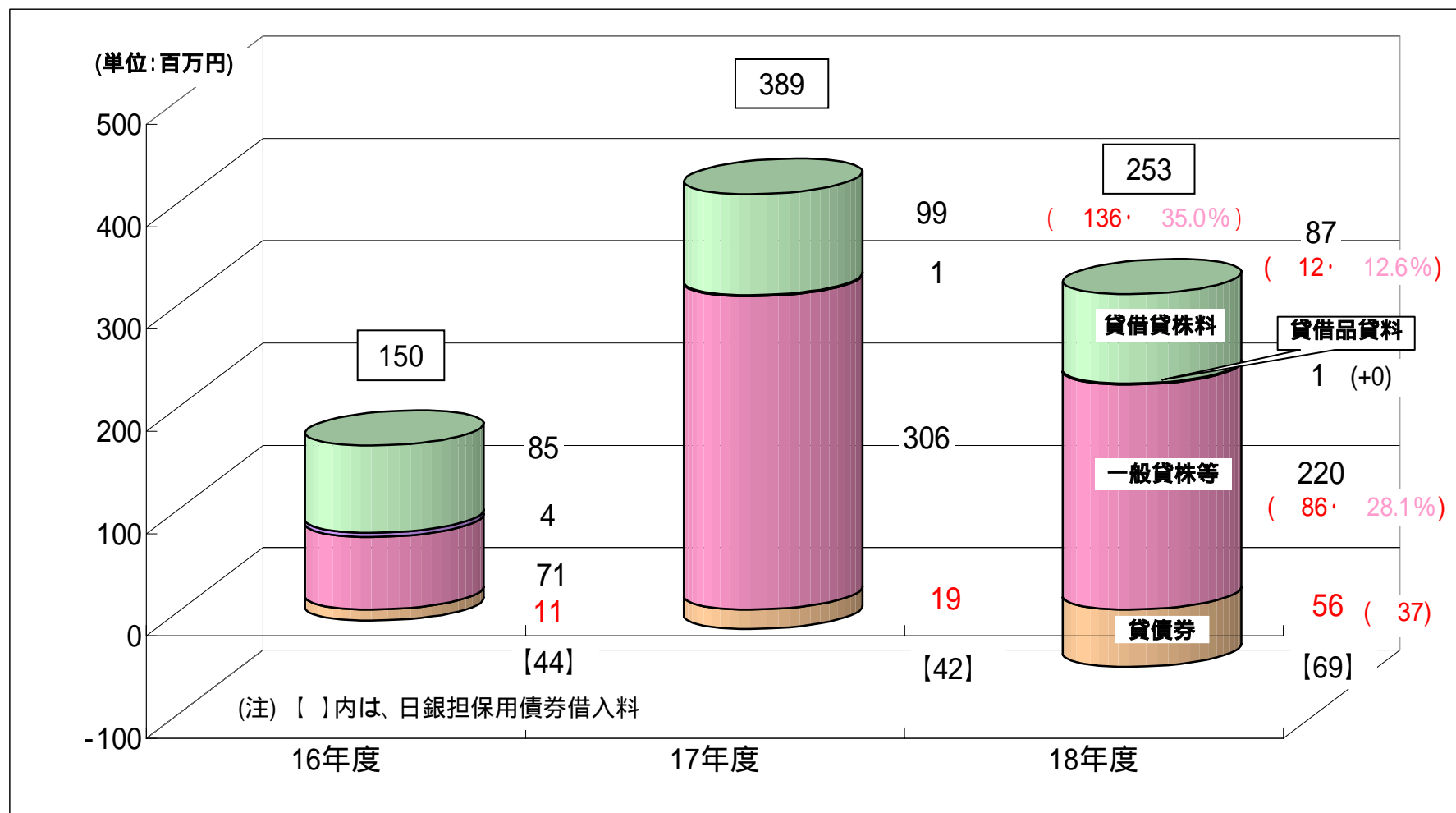
(4) 利鞘収入

貸借取引貸付金および信用サポートローンの減少を主因に減収



(5) 有価証券貸付料(ネット)

一般貸株の減少を主因に減収



(6) 一般管理費

物件費、人件費とも増加(当期から役員賞与費用計上)

